

## 第1回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 議事録

日 時 平成 25 年 6 月 14 日 (金) 13 : 15 ~ 14 : 00  
会 場 仙台市交通局庁舎 7 階研修室  
出席委員 相澤委員、加藤委員、紺野委員、佐藤憲子委員、佐藤万里子委員、志賀委員、中村委員、  
橋浦委員、宮原委員、渡邊委員  
欠席委員 なし  
事務局 清水東西線建設本部長、立野管理部長、佐藤管理課長、白鳥管理課主幹、伊藤推進係長、  
加藤主任、結城主事

### 1 開会

#### ○事務局 (佐藤管理課長)

ただいまより、第1回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会を開催いたします。私は進行役を務めさせていただきます東西線建設本部管理課長の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。

### 2 委嘱状交付

#### ○事務局 (佐藤管理課長)

始めに、委員の皆様へ委嘱状の交付をさせていただきます。本来であれば交通事業管理者の中鉢が参りまして委嘱状をお渡しするところではございますが、市議会への出席のため、代わって、東西線建設本部長の清水よりお渡しいたします。

(委嘱状交付)

### 3 東西線建設本部長挨拶

#### ○事務局 (佐藤課長)

続きまして、仙台市交通局東西線建設本部長の清水俊明よりご挨拶申し上げます。

#### ○清水東西線建設本部長

東西線建設本部の清水と申します。この度、皆様には、お忙しい中この駅名検討委員会の委員をお引き受けくださりまして本当にありがとうございます。

地下鉄東西線は、本市の骨格交通軸を作るとともに、まちづくり全般の骨組みということで、仙台市の最重要プロジェクトの一つとして鋭意事業を実施しているところでございます。平成 18 年度に工事を着工いたしまして 8 年目になりますが、その間、東日本大震災の影響で、工区によっては最大 6 ヶ月程度の長期に渡り工事の中断を余儀なくされたという試練もございましたが、現在、平成 27 年度の開業を目指して鋭意事業を進めているところでございます。工事進捗に伴い中身が細くなっていきまして、昨年度は駅舎のデザインや車両のデザインも決め、公表させていただいたところです。今後は地下の工事だけではなくて、出入口や地上駅の駅舎の工事も進めまして、だんだん地下鉄そのものが見えてくるといった段階に差し掛かってくるようになります。

そのような中で、地下鉄東西線の駅名についても、これまでずっと仮称を用いてきましたが、ま

ちづくりへの意識の向上ですとか、市民の皆様により期待感を持っていただく、という趣旨もございまして、今年中に駅名を正式なものにしていきたいと考えた次第でございます。地下鉄の駅ですので、市民の方はもちろんでございますけれども、遠く全国から観光ですとかビジネスですとか、そういった方々の利用も当然ありますので、幅広い視点・観点から、分かりやすく親しみやすい駅名が望まれるのではないかと考えております。そこで、駅名を決めていくにあたりまして、学識経験者の方や観光、ビジネス、まちづくり等、各界の幅広い方々のご意見も伺って決めていく必要があると考え、今日はこのように、委員の方々にお願いしてお集まりいただきました。今年中に決めるということで、なかなか時間も多くは取れないかもしれませんが、途中、市民の方々のご意見をお聞きするといったことも含めて進めていきたいと思っておりますので、委員の方々のこれまでのご経験や識見も活かしていただきながら大いに議論・審議をお願いしたいと思っております。分かりやすく親しみやすい駅名とするために皆様方のご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

#### 4 委員紹介

○事務局（佐藤管理課長）

続きまして、委員の皆様をご紹介させていただきます。

（各委員紹介）

○事務局（佐藤管理課長）

続いて事務局でございますが、事務局の出席者につきましては、本日の事務局出席者名簿をお手元にお配りしておりますので、それをもって紹介と代えさせていただきます。

#### 5 議事

##### （1）委員長選出及び委員長代理指名

○事務局（佐藤管理課長）

それでは、本日の議事に入ります。まず始めに、委員会の成立についてでございます。本日は10名の委員全員がご出席でございますので、お配りの資料2「仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会設置要綱」第5条第2項の定足数を満たしておりますので、委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。

続きまして、委員長の選出にまいります。要綱第4条第1項にございまして、委員長の選出は委員の互選となっております。どなたか、自薦・他薦を含め、ご推薦ございますでしょうか。挙手の上ご発言をお願いします。

○橋浦委員

はい。

○事務局（佐藤管理課長）

はい、橋浦委員。

○橋浦委員

いろいろな見地から経験をお持ちの、宮原委員を推薦したいと思います。

○事務局（佐藤管理課長）

はい、ありがとうございます。橋浦委員より、宮原委員を委員長にお願いしたらどうかというご推薦をいただきました。他の委員の方々、いかがでございましょうか。

○委員一同

異議なし

○事務局（佐藤管理課長）

それでは、宮原委員に委員長をお引き受けいただきたいと思います。宮原委員、どうぞ委員長席へお移り願います。

続きまして、委員長には要綱第4条第3項に基づきまして、委員長代理をご指名いただきたいと思いますが、どなたにお願いいたしましょうか。

○宮原委員長

仙台の様々な地域のことについて大変ご見識があります、志賀委員をお願いしたいと思います、いかがでしょうか。

○佐藤管理課長

志賀委員、いかがでございましょうか。

○志賀委員

はい。お受けします。

○事務局（佐藤管理課長）

ありがとうございます。それでは、委員長代理は志賀委員にお引き受けいただくことに決まりました。それではここで、委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。委員長、よろしく願いいたします。

○宮原委員長

宮城大学事業構想学部の宮原と申します。今回の仙台の地下鉄東西線駅名検討委員会の委員長を仰せつかりました。私は東京から来まして17年ぐらい経つのですが、仙台はその間、本当に良い街にどんどん変化してきていると思います。この度、東西線は、地元にお住まいの方はもちろんですが、それと同時に、動物園やクリネックススタジアム、仙台城、国際センターなど、集客・交流施設のある様々な地域を走りますので、交流の面でも非常に重要な地下鉄になるのではないかと思います。これらの駅名を、住んでらっしゃる方、大変地域に愛着を持ってらっしゃる方、また、仙台に来てくださる方全てにとって、仙台らしい、分かりやすい駅名が整っていくといいのではない

かと思います。今後ずっと駅名が残っていきますので責任は大変重大であります。委員の皆様からもたくさんご意見をいただきながら、良い駅名が付くよう、一緒に委員会を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## (2) 委員会の運営について

### ○事務局（佐藤管理課長）

ありがとうございました。それではここからは、要綱第5条第1項に基づきまして、議事は委員長の方の進行で進めたいと思っております。委員長、よろしくお願いいたします。

### ○宮原委員長

はい、承知しました。それでは、まずこの会議の公開・非公開につきまして確認をさせていただきます。本委員会は、要綱第5条第4項に基づきまして、原則公開としたいと思っております。また、その上で、例えば万が一特定の個人を識別しうるような情報を扱うような場合が生じましたら、そのときには委員の皆様にお諮りしまして、必要に応じて非公開としたいと思っておりますが、よろしゅうございますか。

### ○委員一同

（異議なし）

### ○宮原委員長

はい、ありがとうございます。また、委員会の議事録につきましては、事務局で作成しまして、委員のメンバーの1名の方の署名により承認される、という形で考えております。署名のご担当の委員は、本日は五十音順ということで、相澤委員にお願いしてよろしいですか。

### ○相澤委員

はい。

### ○宮原委員長

よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

## (3) 東西線建設事業及びこれまでの経緯等について

### ○宮原委員長

それでは、今日の議事の(2)「委員会の運営について」というところまで終わりました。これからは(3)の「東西線建設事業及びこれまでの経緯等について」、まず事務局の方からご説明をお願いいたします。

### ○事務局（伊藤推進係長）

はい、東西線建設本部管理課の伊藤でございます。私から東西線の建設事業概要について、参考資料1と2によりご説明いたします。まず「東西線の必要性・経緯」でございますが、仙台市では昭和62年に地下鉄南北線が整備されたことによりまして、市内の南北地域の交通環境は飛躍的に

改善されましたが、市の南西部と南東部は、依然として鉄道利用が困難で自動車依存の強い地域として残っており、これを解消するため、南北線と一体的な骨格交通軸となります東西線の建設を、平成 27 年度の開業を目標に進めているところです。

次に、「東西線の特性」でございます。まず、東西線のルートであります。参考資料 2 をご覧いただきたいと思っております。この路線図の中で、赤い線で表示しているのが東西線で、動物公園を起点としまして都心部仙台駅で既存の南北線・JR線と交差して、荒井に至る全長約 14km の路線となります。また、東西線の地形的な特徴として急なカーブやきつい勾配の区間がありますので、それに対応できること、また従来の地下鉄よりコンパクトに建設できコストの低減が可能となる機種であること、などを考慮しまして、リニアモーター式地下鉄を採用しております。

次に、「東西線建設工事の推移」であります。先ほど本部長がご挨拶いたしました。平成 18 年度から順次着工しまして、平成 21 年度には全区間で着工しております。東日本大震災により、長いところで約 6 ヶ月間工事を中断しましたが、その後工事は順次再開し、現在は駅の出入口やレールを敷く工事も進めているところです。今後は駅の建築工事・設備工事・車両製造にも取りかかり、また、運営面では、引き続き運転士の養成なども進め、平成 27 年度の開業に向けて事業を進めているところでございます。

なお、参考資料 1 の 2 ページに主な概要が載っておりますので、ご参照いただきたいと思っております。以上でございます。

○宮原委員長

ありがとうございました。ただいまの参考資料 1 と 2 のご説明につきまして、何かご質問はございますか。

(質問・意見なし)

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。それでは引き続き、事務局から次の資料につきまして、ご説明をお願いします。

○事務局（伊藤推進係長）

続きましては、「東西線の仮称駅名設定の経緯」について、資料 3 と 4 によりご説明いたします。現在用いております仮称の東西線駅名につきましては、計画段階の平成 12 年度に設定したものでありますが、そのときの設定の考え方は資料 3 の (1) の「仮称駅名の設定にあたっての考え方」として記載しております 5 つの項目を基に設定いたしました。具体的には、駅名により駅の場所がほぼイメージできること、市民に広く親しまれる名称であること、簡単明瞭かつ発音しやすいこと、他鉄道駅の駅名等と混同しないこと、特別な理由がない限り私的名称は避けること、この 5 点に沿って 13 の駅名を設定しております。

次の資料 4 は、西側の動物公園駅から荒井駅まで、駅ごとに、航空写真上に駅の位置とその付近の地名を表示したものであります。これもご覧いただきたいと思っております。

各駅の仮称駅名を付けた理由につきましては、資料 3 の表に記載したとおりであります。設定の結果を分類しますと、1 点目として、近くの著名な公共施設または建造物の名称を採ったもの、2

点目としましては、既存駅と同一駅名を採ったもの、3点目としては、駅が所在する、または隣接する地名を採ったもの、の3つに大きく分けられます。まず、近くの著名な公共施設または建造物の名称を採ったものとしましては、西側から、動物公園駅、国際センター駅、西公園駅、薬師堂駅でございます。既存駅と同一駅名を採ったものは、結節駅となる仙台駅でございます。その他の駅は、駅が所在する、または隣接する地名等を採ったものでございますが、例外としまして、青葉山駅につきましては、地名ではなく、東北大学や仙台城などを取り囲む一体の丘陵地帯を青葉山と称していますので、それを採用したものでございます。また、新寺駅につきましては、所在地は榴岡となっておりますが、仙石線の榴ヶ岡駅との混同を避けること、仙台駅の東側の地名としてよく知られております新寺地域に駅が近いということから、新寺駅と命名したものでございます。以上が、仮称駅名設定の経緯でございます。

#### ○宮原委員長

ありがとうございました。ただいま資料3によりまして、平成12年度に、現在の仮の駅名を仙台市の方でこのような考え方に基づいて付けましたというご説明がございました。これにつきまして、何かご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。加藤委員は何かありますか。

#### ○加藤委員

今の話を聞いていて思ったこととして、連坊駅についてなのですが、私の中では連坊といいますと、もっと新幹線の高架周辺の方にあるというイメージがございまして、仙台一高のすぐ目の前に駅ができますので、「連坊」というよりも「一高前」とか、一高のすぐ近くにあるということが分かるような駅名の方が、仙台市民で一高と言うとよく知られていると思いますし、良いのではないかなと思いつながら聞いていました。

#### ○宮原委員長

はい、ありがとうございました。加藤委員は東北大学の鉄道研究会ということで、学生さんの立場からご出席いただいておりますが、これからこういう形で、今は仮に付けられてはいますが、いろいろと見ていくと別の名前が良いのではないかと、またはこの名前が良いのではないかと、というご意見を各委員からいただきながら進めていきたいと思っております。今回、私たち委員が選ばれているということで、駅名を市で選ぶ、市だけで決めるということではなくて、皆さんの意見を基にいろいろ決めていきたい。その道筋をつけるということで、これから、今日加藤委員にお話しいただいたように、少しずつ皆さんから意見を承って、まとめていきたいと思っております。

他にご意見はございますでしょうか。

### (4) 検討の進め方と今後のスケジュールについて

#### ○宮原委員長

よろしいでしょうか。それでは、特にご意見がないということですので、4番目の議事に進みたいと思っております。それでは、今回のこの駅名の検討の進め方、それから今後のスケジュールにつきまして、事務局からご説明をお願いします。

## ○事務局（白鳥管理課主幹）

それでは、資料 5 をご欄ください。「検討の進め方と今後のスケジュール」につきまして、私の方からご説明させていただきます。始めに 1 つめの「検討の進め方」でございます。検討委員会の円滑な審議を推進するため、また、広く市民の皆様からご意見を募集する際の応募基準として活用していくために、まずは駅名を選定する基準を策定いただきます。次に 2 つめとして、7 月から 8 月を目途に、具体的な駅名につきまして、より多くの市民の皆様から意見をお寄せいただくというのをやってまいりたいと考えてございます。最後に 3 つめとして、市民意見の募集の終了後、その結果につきまして、また、市民意見の募集とは別に地域からご要望等をいただいておりますらそれも併せてご報告させていただきます、委員の皆様には、それを参考にして、策定いただきました駅名選定基準により、具体的な駅名の審議を行っていただくという形で進めてまいりたいと思います。

これを、それぞれの予定時期の流れとしてお示ししたものが、(2) の「今後のスケジュール」でございます。まず第 1 回目は本日、ただいまご説明させていただいておりますが、駅名の決定手順やスケジュール等の確認についてでございます。続きまして、第 2 回目は来月 7 月の開催を考えておりまして、日程は後ほどご案内させていただきますが、今回は駅名の選定基準や市民意見募集の実施要領につきまして、決定いただくことを予定してございます。続いて 7 月から 8 月にかけて駅名の市民意見の募集を実施いたしまして、募集が終了いたしましたら、とりまとめる時間を設けさせていただき、10 月になりましたら第 3 回目の検討委員会を開催いたしまして、ここで駅名をご審議、そして 11 月には、最終となります第 4 回目の検討委員会を開催いたしまして、検討委員会としての駅名の最終案を決定し、ご提言をいただく。これを受けまして本市として 12 月には駅名を決定したいというところでございます。

これが、検討の進め方と今後のスケジュールでございまして、次回、第 2 回委員会で駅名選定基準の審議をいただくにあたって、その参考に資するものとしまして、今回参考資料 3 と 4 をお配りいたしております。まず 1 つめは、参考資料 3 でございます。こちらは、東西線の駅と沿線の歴史紹介でございまして、中をご覧くださいと、駅の位置をはじめ、駅舎や橋梁のデザイン、そして地域の様々な資源などの画像も盛り込んでございまして、巻末に記載いたしました参考文献を基に、取りまとめたものでございます。本日は全てご紹介できませんが、次回までにご高覧賜れば幸いですので、よろしくお願いいたします。

続きまして、2 つめの参考資料 4 でございます。こちらは本市の南北線及び比較的近年に開業した他都市における駅名の選定基準についてでございます。上から、本市の南北線、横浜市、名古屋市、大阪市、福岡市、という形で掲載させていただいております。右側の欄の選定基準をご覧くださいますと、様々な視点により定めたことが見受けられます。これらは、基本的には鉄道事業者が自ら内部で検討し決定したという状況でございまして、本市の南北線におきましても同様でございます。なお、中ほどの、名古屋市につきましては、区間が延伸された際の例でございまして、名古屋市職員である行政区長と、外部の有識者とで構成する駅名称の検討委員会を設けまして、その意見を聞いて駅名を決定したと伺っております。この参考資料 3 や 4 をご覧いただきながら、次回の審議にあたっての参考としていただければと思いますので、次回までにご高覧よろしくお願いいたします。検討の進め方、スケジュールにつきましては、以上でございます。

## ○宮原委員長

ありがとうございました。今、事務局から、今回の検討の進め方とスケジュールにつきまして、基本的には、まず駅名選定の基準を作りますというご説明をいただきました。それから、市民の方の意見募集や地域からの要望等も考慮に入れながら、4回の検討委員会を踏まえて駅名を決定していきたいという道筋になります。その参考資料として、沿線の様々な歴史ですとか、参考資料4につきましては、南北線の駅名を鉄道事業者である市が決めましたが、それ以降の他の自治体の地下鉄も含めて、それぞれの地域に則した選定基準というものを設けて駅名を決めている事例をご説明いただきました。次回以降はこのような資料も参考にさせていただきながら、駅名を決めていきたいと思います。何か、ここまででご質問やご意見はございますでしょうか。

(質問・意見なし)

○宮原委員長

ありがとうございます。それでは、次回、第2回の委員会では駅名選定基準を決定することになりますので、その際の議論を深めるためにということで、先ほど申しあげました資料の方をご覧いただくということで是非よろしく願いいたします。

それから、平成12年度に仮の駅名を設定した際の考え方というものはありますが、あらためて駅名の選定基準のたたき台というものを事務局の方でご用意いただいて、それを参考に次回お話しをするということにしたいと思います。よろしいでしょうか。

○事務局（佐藤管理課長）

承知しました。次回のご議論に資するような資料を準備させていただきます。

**(5) その他**

○宮原委員長

よろしく願いいたします。また、委員の皆様におかれましても、ご意見や案があるようでしたら、次回の委員会までに別途事務局の方にいただければ幸いです。よろしく願いいたします。それでは、本日予定しています議事に関しましては終了いたしました。委員の皆様から何か他にございますでしょうか。

○宮原委員長

特によろしいですか。

事務局からは他に何かございますか。

○事務局（白鳥管理課主幹）

それでは、事務局の方から2点ほどお知らせがございますので、よろしく願いいたします。まず1点目は資料6をご覧いただきたいと思います。こちらは、東西線工事現場見学のスケジュールでございます。委員の皆様には今後駅名について議論を深めていただくために、東西線の工事の現場や駅周辺の状況をぜひご覧いただきたいと思ひまして、本日と次回の2回に分けて見学を実施させていただきたいと考えております。本日はこの後、この資料よりは早めのお時間で14時10分のスタートということでお願いしたいと思ひます。ここ交通局を出発いたしまして、東の荒井駅の方に



向かいますが、道中に西公園、一番町、新寺、連坊、薬師堂等々、東西線の路線に沿って移動しますので、車で通過しながらではありますが、各駅の周辺の様子をぜひご覧いただきたいと思います。また、荒井駅到着後は、駅、トンネル、車両基地の現在の状況などをご覧いただきたいと思います。見学終了後は帰路につきまして、全体として予定が早まっておりますのでこちらには 16 時頃を目途に戻って来られると思いますが、戻り次第散会とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。委員の皆様には普通の乗用車で 3 台に分乗していただきますので、詳しくは後程またお知らせをさせていただきます。あと資料にも書いてございますが、ヘルメット・反射ベスト・長靴・軍手はこちらで準備いたしますので、現地での着用を、ご了承をお願いいたします。本日は東側を見学いたしますが、次回は西側、青葉山や動物公園を予定しております。

2 点目につきましては、特に資料はなく口頭でのご連絡になります。第 2 回目の検討委員会の開催につきまして、日程をご連絡させていただきます。次回の日程は、7 月 19 日金曜日でございます。時間と場所は本日と同じで、13 時 15 分から交通局庁舎 7 階研修室で行いますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

## 6 閉会

### ○宮原委員長

どうもありがとうございました。今日は第 1 回目ということで、ガイダンスのような形になりまして、皆様お一人お一人からお言葉をいただく機会がありませんでしたが、次回またぜひいろいろな意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして第 1 回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

### ○事務局（佐藤管理課長）

本日は誠にありがとうございました。

## 議事録署名人

平成 25 年 6 月 25 日

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 委員

相澤 義博